

平成30年3月17日(土) 京都バスの運行時刻が変更になります

◆新たに、「土曜日用時刻」を設けます

これまで、「平日用時刻」「土休日用時刻」の2種類の運行時刻としていましたが、新たに「土曜日用時刻」を設け、「平日用時刻」「土曜日用時刻」「休日用時刻」の3種類の運行時刻とします。

謹 告

平素から京都バスをお引き立て賜り、誠に有り難く、厚く御礼申し上げます。
今般、弊社では平成30年3月17日に、ほぼ全線で運行時刻の変更を実施させていただきます。

今次の運行時刻変更においては、運行便数の減少、運行時刻の縮小（初発の繰り下げ、終発の繰り上げ）、運行経路の変更等、日々ご利用いただいているお客さまの利便に一部影響の生じる恐れのあるものとなります。

日々のご愛顧に対し、このような事態に至りましたことにつき、少なからずご迷惑をおかけすることとなりますこと、深くお詫び申し上げます。

おかげさまで弊社乗合バスのご利用は多くのお客さまにご利用いただき、概ね好調に推移しているところでございますが、数年来に亘って慢性的に人手不足であり、とりわけバス運転士の要員確保に相当苦心しております。

全国的にドライバー職の不足が深刻化している中、弊社のバス運転士も所要の人員が確保できず、これまで貸切バス受注の停止等、経営的に苦しい決断ながら、事業圧縮の施策を講じて参りました。

「働き方改革」の中で、法令を遵守し、今後も安定して事業を継続して参るため、更なる事業圧縮の必要に迫られた結果、今般の運行時刻変更をさせていただき運びとなったものでございます。

今後、引き続き要員の確保に注力して参り、適切に要員が確保できた段階で可能な限り輸送力の回復に努めて参ります。

誠に勝手ではございますが、事情ご賢察賜り、今般の運行時刻変更について何卒ご理解を賜りますと共に、引き続きご利用ご支援賜りたくお願いを申し上げます。

また、特にバス運転士職の要員確保についても、併せてご支援ご協力賜れば誠に幸甚に存じます。

平成30年3月

京 都 バ ス 株 式 会 社
取締役社長 宮 川 豪 夫

八瀬・大原・小出石方面の主な変更

- ★昼間時間帯の17系統（京都駅・四条河原町～大原方面）の運転間隔を、これまでの1時間あたり3便から1時間あたり2便へと変更します。
19系統（国際会館駅～大原）は、これまでの60分間隔から概ね40分間隔とします。
これらにより、大原地区から市内方面へは、17系統と19系統を合わせて1時間あたり3～4便になります。
- ★16・17系統は、初発繰り下げ（四条河原町→大原方面は6分遅く、大原→四条河原町方面は25分遅くなります（平日））・終発繰り上げ（四条河原町→大原方面は26分早く、大原→四条河原町方面は10分早く（平日））になります。
- ★早朝の小出石行（大原発6・7時台）、土休日の夜間国際会館駅前行（小出石公民館前発19時台）並びに夜間の小出石行（国際会館駅前発19時台）は、ご利用が極めて少ないため運行を取り止めます。

岩倉方面の主な変更

- ★四条河原町と岩倉地区を結ぶ21・23・41・43系統は、岩倉村松発着を1時間あたり3便とし、岩倉実相院発着を1時間あたり1便に変更します。
なお、初発・終発とも概ね8～34分程度繰り下げ・繰り上げます。
- ★国際会館駅と岩倉地区を結ぶ系統は、朝ラッシュ時と夕方に一部運転間隔を調整し、若干減便とします。29系統は、朝ラッシュ時間帯の岩倉村松発国際会館駅前行を除き、運行を取りやめます。46系統は、北大路駅前と岩倉村松間を直通する運行を減便し、北大路駅前終発が概ね40分早くなります。
- ★国際会館駅前発23時台、24時台に岩倉村松行の運行を行っておりますが、ご利用状況に合わせて休日のみ終発を国際会館駅前22時50分発岩倉村松行に大幅に繰り上げます（平日・土曜日はこれまで通り24時14分発岩倉村松行を運行します）。

静市・鞍馬方面の主な変更

- ★国際会館駅と鞍馬・静市地区を結ぶ52系統は、国際会館駅前～鞍馬温泉間、1時間あたり2便となります。
- ★市原発出町柳駅前行初発が20分遅くなり、国際会館駅前行が17分遅くなります。出町柳駅前発市原行終発が35分早くなり、国際会館駅前発市原行終発が33分早くなります（いずれも平日時刻）。
- ★京都産業大学関係系統は、ご利用実態に合わせて開校日は増発、休校日に減便します。36系統（出町柳駅前～京都産業大学前）は、休校日を運休とします。

左京南部の主な変更

- ★高野車庫発出町柳駅前・四条河原町方面行初発が24分遅くなり、京都駅前発高野車庫方面（大原行）行終発が90分早くなります。
- ★土曜・休日の午後に京都駅前～高野車庫間を結ぶ「15系統」を新設します。
- ★市バスと共同運行で、京都駅前～京大病院前・京大正門前間を結ぶ「京大快速」を新設します。これと併せて、「京大病院前」バス停(北行のみ)を新設します。

四条河原町・三条京阪前から嵐山方面の主な変更

- ★日中はこれまで通り20分間隔運転とし、三条京阪前発嵐山方面行初発が23分（平日）遅くなります。また休日に限り三条京阪前発有栖川行終発が95分早くなります（平日・土曜日については、これまで通りです）。

京都駅から嵐山方面の主な変更

- ★京都駅前C6のりばに市バス28号系統が停車することになり、嵐山方面は同じ停留所から乗車出来ます(市バス・京都バス合わせて日中10分間隔運転)。
- ★京都駅前から松尾方面へは市バス28号系統をご利用いただけることとなることから、京都駅前～苔寺間を結ぶ73系統の一部を京都駅前～嵐山間に変更します。
- ★京都駅前発有栖川行(75系統)の終発が69分（平日）、87分（土曜・休日）早くなります。
- ★京都駅前発五条通・京都外大前・帷子ノ辻経由の阪急嵐山駅前行(86系統)と苔寺行(83系統)を新設します。五条通経由京都駅行は平日の朝1便以外運転を取りやめます。

嵐山周辺の主な変更

- ★阪急嵐山駅前～清滝間を運行する92・94系統は、日中1時間当たり2便としていますがこれを1時間当たり1便とします。清滝方面行の終発が概ね100分程度早くなります。

バス停の名称変更を行います

- ◆よりわかりやすく、市バスと同じ名称とすることを基本に一部バス停名を変更します。

変更前

「円町駅前」 → 「西ノ京円町」
※東行バス停はこれまでの円町交差点西詰から東詰の市バスと同一箇所に移動します。
「花園黒橋」(丸太町通) → 「花園扇野町」
「花園黒橋」(天神川通) → 「黒橋」
※「花園黒橋」(下立売通)は変更しません。
「神泉苑」 → 「神泉苑前」
「河原町御池」(ホテルオークラ南側) → 「京都市役所前」

変更後

京都バス定期券の払戻しについて

- ◆今回の時刻変更により、定期券をご利用のお客様でバスのご利用にご不便をおかけする場合(例：始終発時刻の変更、運行経路変更等)は、平成30年4月16日までに定期券発売窓口にお申し出いただければ無手数料で定期券の払戻し、書き換えをいたします。お申し出の日が起算日となりますので、お早めにお越し下さい。

新しい一日乗車券等の発売について

これまで発売していた「市バス・京都バス一日乗車券カード」及び「京都観光一日(二日)乗車券」について、発売価格及び名称を見直し、平成30年3月17日から、それぞれ新しい乗車券として発売します。

平成30年3月16日までの旧乗車券	▶	平成30年3月17日以降の新乗車券
市バス・京都バス一日乗車券カード 【発売価格】 大人 500円	▶	バス一日券 【発売価格】 大人 600円
京都観光一日乗車券 【発売価格】 大人 1,200円	▶	地下鉄・バス一日券 【発売価格】 大人 900円
京都観光二日乗車券 【発売価格】 大人 2,000円	▶	地下鉄・バス二日券 【発売価格】 大人 1,700円

※小児券はそれぞれ半額

★現行の「市バス・京都バス一日乗車券カード」の取扱い

平成30年6月30日まで

今まで通りご利用いただけます(追加運賃不要)。払戻しをされる場合は、通常通り手数料200円が必要です。

平成30年7月1日以降

現行の「市バス・京都バス一日乗車券カード」はご利用いただけなくなりますので、市バス・地下鉄案内所、京都市交通局定期券発売所および京都バス営業所において、交換又は払戻しを行います。期限は平成31年3月31日までです。

【交換】

旧乗車券+現金100円(小児券の場合は50円)で、新乗車券に手数料なしで交換します。

【払戻し】

手数料なしで払戻しを行います。

※バスの車内では交換・払戻しできませんので、ご注意ください。

★現行の「京都観光一日(二日)乗車券」の取扱いについて

引き続き今まで通りご利用可能ですが、平成31年3月31日まで、市バス・地下鉄案内所、京都市交通局定期券発売所および京都バス営業所において、交換又は払戻しを行います。

平成31年4月1日以降も現行乗車券はご利用可能です。

【交換】

新乗車券との交換+新乗車券との差額300円(小児券の場合は150円)を返金します。

ただし、ご使用後の差額の返金はできませんので、ご注意ください。

【払戻し】

通常通り手数料200円が必要です。

※バスの車内では交換・払戻しできませんので、ご注意ください。